



kaminorippo.org

神の律法：付録1：613の戒めの神話

613の戒めの神話と神のすべての僕が従うべき真の戒め

よくある誤解

父と子のすべての戒めを救いのために従う必要性について文章を公開すると、多くの場合、一部の読者が苛立ち、次のようなコメントで返答します：「もしそうなら、613の戒めすべてを守らなければならないね！」

このようなコメントは、ほとんどの人がこの謎の戒めの数—聖書には決して見られないもの—がどこから来たのか、実際には何を意味するのか全く知らないことを示しています。

神話の起源を説明する

質問と回答形式

この研究では、質問と回答の形式でこの神話の起源を説明します。

また、聖書に含まれる神の真の戒めを明らかにし、神を恐れ、罪の赦しのためにその子に送られることを望むすべての人が従うべきものを明確にします。

質問：いわゆる**613**の戒めとは何ですか？

回答：613の戒め（613ミツヴォート）は、12世紀に実践的なユダヤ人のためにラビによって発明されました。その主な著者はスペインのラビで哲学者の**モーセ・マイモニデス**（1135–1204）、別名ラムバムとして知られています。

質問:聖書に本当に**613**の戒めがあるのですか？

回答:いいえ。主の真の戒めは少なく、従うのは簡単です。悪魔はこの神話を、主への服従を人類に放棄させる長期計画の一部として靈感しました。この戦略はエデン以来続いています。

質問:**613**という数字はどこから来たのですか？

回答:この数字はラビの伝統とヘブライ語の数秘術の概念に由来し、アルファベットの各文字に数値を割り当てます。そのような伝統の一つは、フリンジまたはタッセル(民数記15:37-39参照)を意味する「ツイツイト」(תצית)という単語が、その文字を合計すると613になるという主張です。

具体的には、この神話によると、これらのタッセルは初期数値として600を持ち、8本の糸と5つの結び目を加えると合計613になり、トーラー(聖書の最初の5冊)に含まれる戒めの数に対応するとされています。ツイツイトの使用はすべての人に従うべき真の戒めであることは注目に値しますが、613の戒めとの関連は純粋な創作です。これはイエスが言及し非難した「長老たちの伝統」の一つです(マタイ15:1-20参照)。[\[ツイツイトに関する研究を参照\]](#)

質問:ツイツイト(タッセル)から**613**という数字に合うように、どのようにしてそんなに多くの戒めを考え出したのですか？

回答:大変な努力と創造力を持ってです。彼らは真の戒めをいくつかの小さなものに分割して数を増やしました。また、祭司、寺院、農業、家畜、祭りなどに関する多くの戒めも含めました。

質問:我々が従うべき真の戒めは何ですか？

回答:十戒に加えて、他にもいくつかの戒めがあり、すべて従うのは簡単です。一部は男性または女性に特有で、他のものは共同体に、また農民や家畜飼育者などの特定のグループに適用されます。多くの戒めはキリスト教徒には適用されません。なぜなら、それらはレビ族の子孫に独占的であるか、[エルサレムの神殿](#)に関連しており、それは西暦70年に破壊されたからです。

我々は今、終末の時代において、神がすべての忠実な子たちに準備を呼びかけていることを理解しなければなりません。なぜなら、いつ何時、神はこの腐敗した世界から我々を連れ去るからです。神は例外なくすべての戒めに服従しようと努める者だけを連れ去ります。

あなたの指導者の教えや模範に従わず、神が命じたものだけに従いなさい。異邦人は神のどの戒めからも免除されません:「集会はあなたとあなたの中に住む異邦人 [גֵּר (見知らぬ者、外国人、非ユダヤ人)] に同じ律法を持つべきです。これはあなたの世代にわたる永遠の法令です。主の前では、あなたとあなたの中に住む異邦人に等しく適用されます。同じ律法と条例があなたとあなたの中に住む異邦人の両方に適用されます」(民数記15:15-16)。



十戒に加えて、他にもいくつかの戒めがあり、すべて従うのは簡単です。神はモーセに、主が我々に何を期待しているかを教えるよう指示しました。

「あなたの中に住む異邦人」という言葉は、神の選ばれた民に加わり救われたいと願う非ユダヤ人を指します。「あなたがたは知らないものを礼拝しています。私たちは知っているものを礼拝しています。なぜなら救いはユダヤ人から来るからです」(ヨハネ4:22)。

以下は、キリスト教徒が最もよく無視する戒めであり、イエス、その使徒、弟子たちがすべて従ったものです。イエスが我々の模範です。

男性のための戒め：

- 髪と髭：「頭の髪を丸く刈り込んでではなく、髭の端を傷つけてはならない」(レビ記19:27)。[[キリスト教徒の髪と髭に関する研究にアクセス](#)]
- ツイツイト：「イスラエルの子らに言いなさい。彼らの世代において衣服の端にタッセルを作り...それを見て、主のすべての戒めを思い出すように」(民数記15:37-39)。[[ツイツイトに関する研究にアクセス](#)]

- 割礼：「誕生から8日目に、あなたの男児に割礼を施しなさい...土着の者も異邦人も共に」(創世記17:12)。[[キリスト教徒と割礼に関する研究にアクセス](#)]

女性のための戒め：

- 月経中の関係の自制：「誰かが女性とその病の間に寝て彼女の裸を明らかにした場合...両者はその民の中から滅ぼされる」(レビ記20:18)。

共同体のための戒め：

- 安息日の休息：「安息日を覚えて、それを聖なるものとしなさい。6日間働きます...しかし7日目はあなたの神、主のための安息日です」(出エジプト記20:8-11)。[[安息日に関する研究にアクセス](#)]
- 禁じられた食物：「陸に住むすべての動物の中で、これらがあなたが食べてもよいものです...」(レビ記11:1-46)[[キリスト教徒のための禁じられた肉に関する研究にアクセス](#)]

質問：パウロは書簡(手紙)の中で、イエスが我々のためにすべての戒めに従い、その死によってそれらを取り消したと言っていないですか？

回答：絶対にそんなことはありません。パウロ自身、牧師たちが彼の著作を使って教会で教えていることに驚愕するでしょう。パウロを含むどの人間にも、神の聖なる永遠の律法の1文字さえ変える権限は神から与えられていません。もしこれが真実であれば、預言者たちとイエスは、神がタルソス出身の特定の人物にこのレベルの権限を与えて送ると明確に述べていたでしょう。しかし、事実として、パウロはタナハ(旧約聖書)の預言者や四つの福音書におけるメシアによって全く言及されていません。このような重要な事柄が神によって触れられずに放置されることはありません。

預言者は新約聖書の時代に現れた3人の人物のみを言及しています：ユダ(詩篇41:9)、バプテスマのヨハネ(イザヤ40:3)、アリマタヤのヨセフ(イザヤ53:9)。パウロへの言及はゼロであり、それは彼が預言者やイエスによって既に明らかにされたものに付け加えたり矛盾するものを教えなかったからです。

パウロが以前に書かれたものを変えたと信じるキリスト教徒は、預言者とイエスに一致するように理解を見直すべきです—ほとんどの人がするようにその逆ではありません。

パウロの著作を預言者やイエスと一致させられない場合、どの人間の著作の解釈に基づいて神に不服従するよりも、それらを脇に置く方が良いです。そのような推論は最終的な裁きで言い訳として受け入れられません。

誰も「パウロに従ったのであなたの戒めを無視した私は無罪です」と裁判官を説得することはできません。終末について明らかにされたことは次の通りです：「ここに神の戒めを守り、イエスへの信仰を持つ聖徒たちの忍耐がある」(黙示録14:12)。

質問: 聖霊は神の律法の変更や取り消しを靈感しませんでしたか？

回答: そのような考えは冒涇に近いものです。聖霊は神自身の霊です。イエスは聖霊の派遣が我々に彼が既に語ったことを思い起こさせることによって教えるためのものだと明確にしました: 「彼(霊)はあなたがたにすべてのことを教え、私があなたがたに言ったすべてのことを思い起こさせるでしょう」(ヨハネ14:26)。

聖霊が子や父の預言者によってまだ教えられていない新しい教義をもたらすという言及はありません。救いは聖書の最も重要な主題であり、必要なすべての情報は預言者とイエスによって既に届けられていました: 「私は自分で語ったのではなく、私を送った父が私が語るすべてのことを[εντολη (entolē) 命令、規則、指示]命じました。私は彼の命令[entolē]が永遠の命につながることを知っています。だから私が言うことはすべて父が私に言うように言われたものです」(ヨハネ12:49-50)。

啓示の連続性はキリストで終結しました。これは、前述の通り、メシア後に新しい主要教義を持つ人間が遣わされる預言がないためです。復活後の唯一の啓示は終末に関するものであり、イエスと世界の終わりとの間に神からの新しい教義が現れることはありません。

神のすべての戒めは連続的かつ永遠であり、我々はそのによって裁かれます。父を喜ばせた者は子に送られ、彼によって贖われました。父の戒めに不服従だった者は彼を喜ばせず、子に送られません: 「これが私があなたがたに言った理由です。父がその者を可能にしない限り、誰も私のところに来ることはできません」(ヨハネ6:65)。